

## 令和3年度 水道事業の概要

### 主な業務状況

- 給水人口は 266,017人で、前年度に比べ 1,878人減少しました。
- 有収水量（料金を賦課した水量）は28,523,729m<sup>3</sup>で、新型コロナウイルス感染症の影響による業務用水量の落ち込みは回復傾向にあるものの、一般家事用水量の減少に伴い、前年度に比べ19,097m<sup>3</sup>減少しました。
- 有収率は85.7%で、前年度より0.1ポイント減少しました。

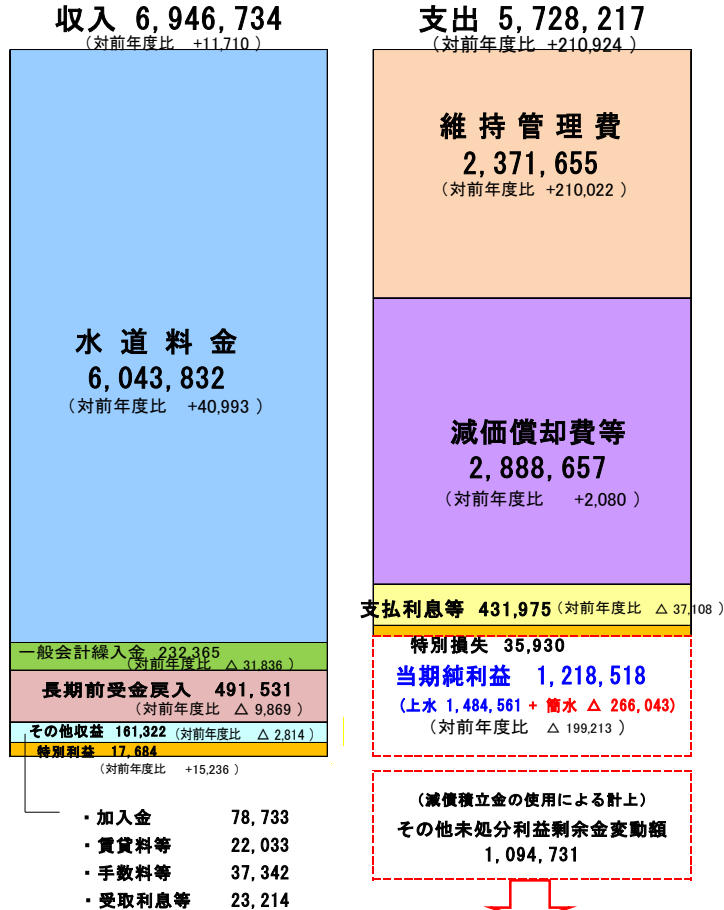
項目	令和3年度	令和2年度	増減	対前年比
給水人口（人）	266,017	267,895	△ 1,878	99.3%
給水量（m <sup>3</sup> ）	33,273,301	33,258,878	14,423	100.0%
有収水量（m <sup>3</sup> ）	28,523,729	28,542,826	△ 19,097	99.9%
有収率（%）	85.7	85.8	△ 0.1	—

# 令和3年度 水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

# 2

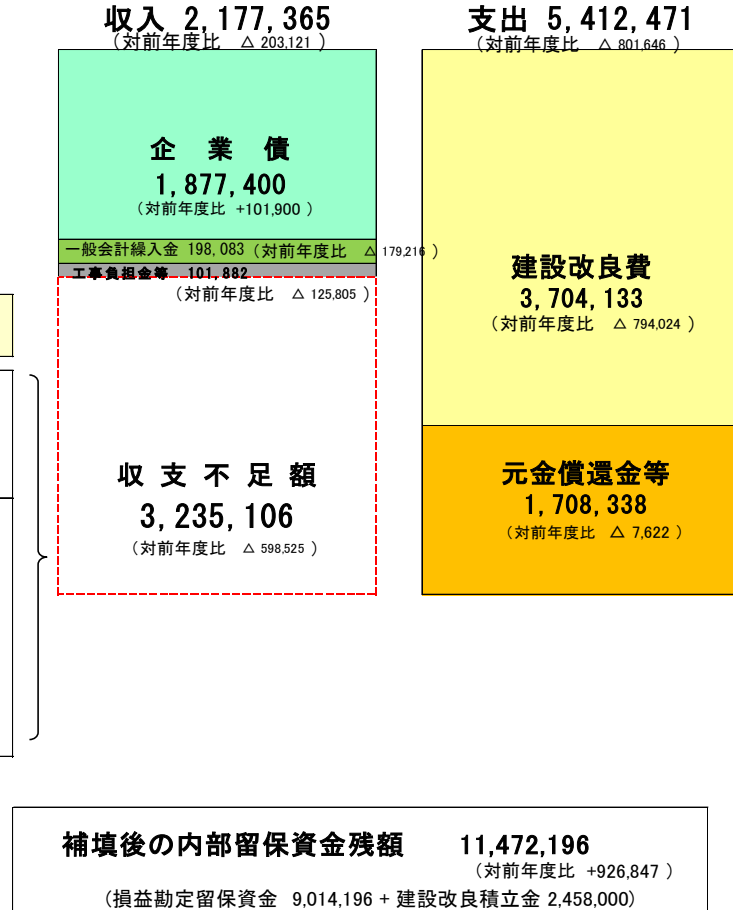
## 収益的収入及び支出 (税抜き)



**純利益等の処分(案)**  
令和4年9月議案に提出予定

① 当期純利益	
・ 減価積立金	892,518
・ 建設改良積立金	326,000
	<u>1,218,518</u>
② その他未処分利益剰余金変動額	
・ 資本金への組入れ	1,094,731
※減価積立金の使用により未処分利益剰余金に計上したものの。	

## 資本的収入及び支出 (税込み)



## 令和3年度 下水道事業の概要

### 主な業務状況

- ・ 汚水処理区域内人口（下水道に接続可能な人口）は362,069人で、前年度に比べ2,009人減少し、水洗化人口（下水道に接続済みの人口）は352,349人で、前年度に比べ1,102人減少しました。
- ・ 人口普及率（下水道に接続可能な人の割合）は97.9%で、前年度より0.1ポイント増加しました。
- ・ 有収汚水量（使用料を賦課した汚水量）は37,665,206 m<sup>3</sup>で、水需要の減少などにより、前年度に比べ70,152 m<sup>3</sup>減少しました。

項 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年比
汚水処理区域内人口（人）	362,069	364,078	△ 2,009	99.4%
水洗化人口（人）	352,349	353,451	△ 1,102	99.7%
人口普及率（%）	97.9	97.8	0.1	—
有収汚水量（m <sup>3</sup> ）	37,665,206	37,735,358	△ 70,152	99.8%

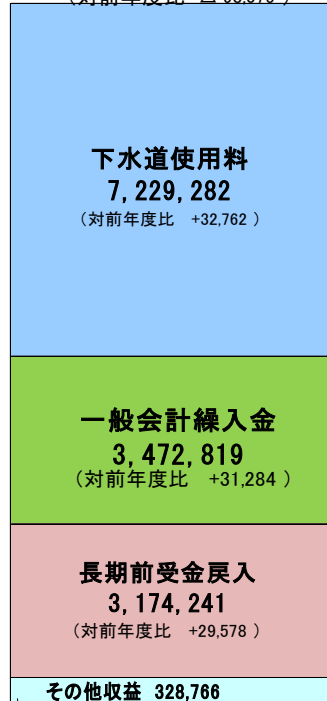
# 令和3年度 下水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

4

## 収益的収入及び支出 (税抜き)

収入 14,205,108  
(対前年度比 △ 98,075)



・果負担金返還金 282,158  
・手数料等 46,608

参考

R2 R3  
特別利益 176,926 → 0  
特別損失 294,384 → 0

支出 11,528,942  
(対前年度比 △ 337,849)



(減債積立金の使用による計上)  
その他未処分利益剰余金変動額  
2,436,391

### 純利益等の処分(案)

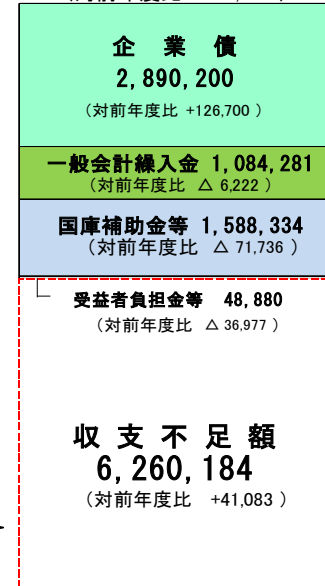
令和4年9月議会に提出予定

① 当期純利益  
・減債積立金 2,676,166  
2,676,166

② その他未処分利益剰余金変動額  
・資本金への組入れ 2,436,391  
※減債積立金の使用により未処分利益剰余金に計上したものを。

## 資本的収入及び支出 (税込み)

収入 5,611,695  
(対前年度比 +11,765)



### 補填財源

減債積立金等  
2,683,328

内部留保資金  
3,576,856

支出 11,871,879  
(対前年度比 +52,848)



### 補填後の内部留保資金残額

2,434,030

(対前年度比 △ 225,419)

損益勘定留保資金の内訳

過年度分	0
現年度分	2,434,030